

FileMaker 12でオブジェクトデータを外部に保存する際の注意点

2013/3/16

FM-Chubu ライトニングトーク発表資料

松尾 篤（株式会社エミック）

オブジェクトデータの 外部保存

- FileMaker 12の新機能
- データを外部に保存するようにオブジェクトフィールドを設定できる

外部保存はオプション

フィールド「FIELDNAME」のオプション

入力値の自動化 | 入力値の制限 | **データの格納** | ふりがな

グローバル格納

グローバル格納を使用するフィールドには、すべてのレコードで共有される1つの値のみが格納されます。グローバルフィールドは、スクリプトの使用時など、値の一時的な保存場所としても使うことができます。

グローバル格納（すべてのレコードに1つの値）を使用する

繰り返し

最大繰り返し数:

オブジェクト

オブジェクトデータを外部に保存

保存先:

セキュア格納

オープン格納

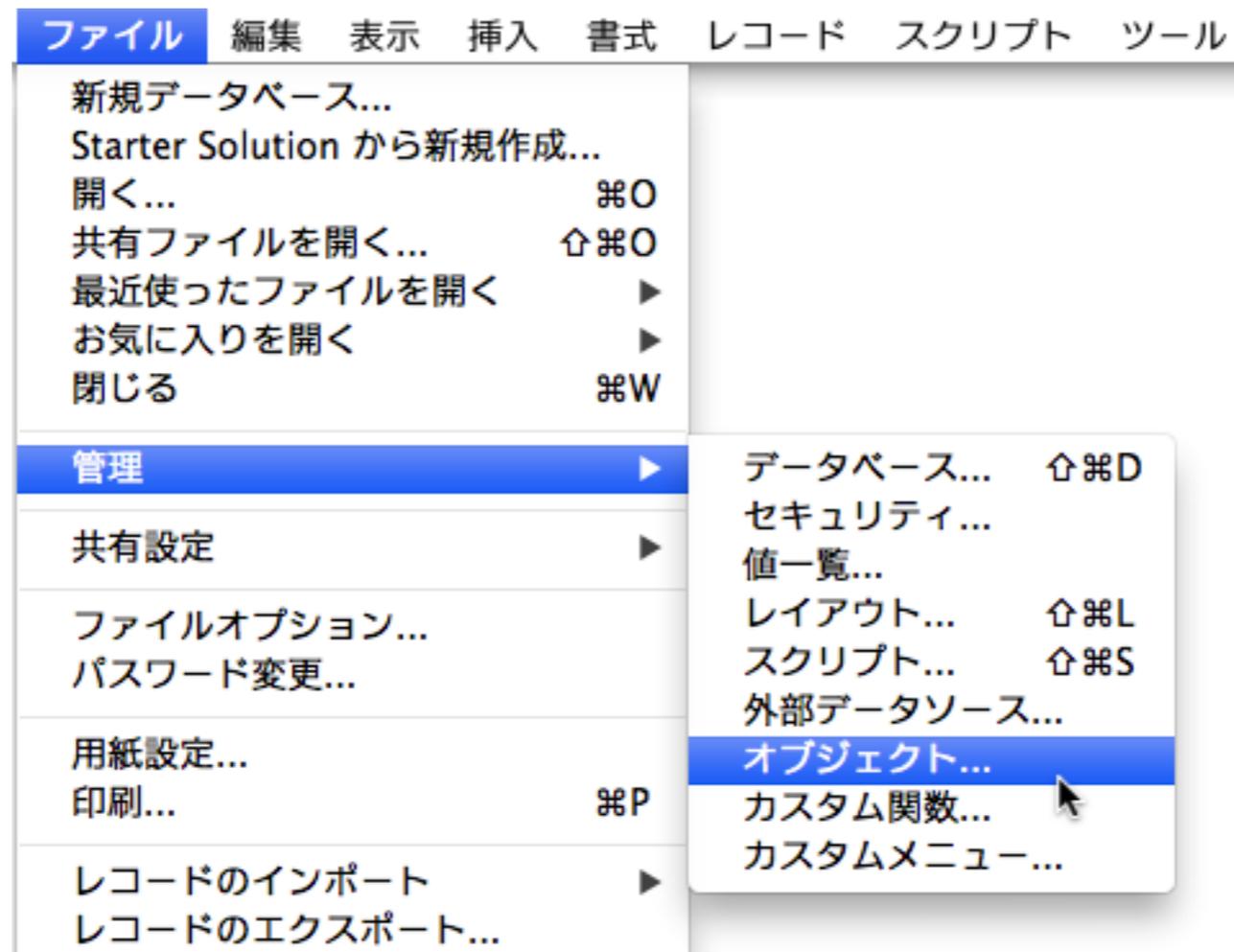
2種類の格納方法

- セキュア格納
- オープン格納

外部保存のメリット

- 複数人共有時のデータ管理が簡単に
(共有ボリュームの用意が不必要)
- 増分バックアップの実行が可能に
(高速なバックアップ処理)
- セキュア格納による安全性の維持

オブジェクトの管理



格納場所を指定可能



外部保存の注意点 (I)

- スタンドアロン利用時とサーバー共有時で格納場所の相対位置が異なる
- データベース名を変更する時は要注意
(特にFileMaker Server利用時)

外部保存の注意点 (2)

- オープン格納で日本語のファイル名を使う場合に問題が生じるケースがある
- Admin Consoleで正常にアップロードやダウンロードできないケースがある

外部保存の注意点 (3)

- オープン格納では保存先のフォルダを計算式で調整する工夫が必要
- ファイル名が重複しないように設計
- 1つのフォルダ内に数千、数万のファイルを配置しないように注意

外部保存の注意点 (4)

- データベースのパスワードを忘れるとセキュア格納されている外部保存データの復旧は不可能
- データベースファイルが壊れたときも上記と同様

まとめ

- オブジェクトデータの外部保存には利点だけでなく注意点も
- オブジェクトデータが見つからないケースを避けるためにも仕様や特性を見極めてから機能の活用を

関連URL

- オブジェクトフィールドのデータの外部
保存

[http://filemaker-jp.custhelp.com/app/answers/
detail/a_id/10664](http://filemaker-jp.custhelp.com/app/answers/detail/a_id/10664)

関連URL

- 外部保存されたオブジェクトフィールドのデータが、FileMaker Server にアップロードされない。

http://filemaker-jp.custhelp.com/app/answers/detail/a_id/10834

関連URL

- Java 7 for Mac OS X : [データベースアップロードアシスタント] で、全角文字を含むファイルを選択できない

http://filemaker-jp.custhelp.com/app/answers/detail/a_id/11295